



いろいろな「違い」を尊重する心

副校長 立野 文雄

インドネシアのジャカルタ日本人学校に勤務していた時のことです。

8月の早朝、ふと空を見上げると見慣れた星座がありました。オリオン座です。美しく輝く星座に感動し、しばらくたたずんでいました。が、「あれっ？今は8月、夏。冬に見えるはずのオリオン座がどうして見えるのだろう。」と不思議に思いました。そうでした。ここジャカルタは南緯6度の南半球に位置していたので、星座の見え方が日本と違っていたのです。

また、ジャカルタは年間平均気温27度の熱帯地方で、四季はなく、乾季と雨季に分かれていました。雨季にはバケツをひっくり返したような豪雨が降り、驚かされました。さらに、太陽高度が高く、つぼみのヒマワリがほとんど上側を向いていたことが印象的でした。世界は広く、場所が変われば不思議なことがあるものです。子供たちにもいろいろな「違い」や自然の不思議さに気付き、視野を広げていってほしいと思います。

今日、国際理解や異文化理解が話題になっています。異国の文化や習慣の違いを理解することは、友好関係を築くうえでとても大切なことです。その大前提には、自国の伝統や文化を大切にし、尊重する心を育てる必要があります。それらの基本は人間理解だと思います。人間関係が良好で人と仲良くするためには、お互いのよさを理解し尊重することが必然です。子供たちには、まずは身近な友達のことを優しく思い、大切にし、やがては異文化理解を深めてほしいと思います。

詩人、金子みすゞさんの詩「わたしと小鳥とすずと」には、「みんなちがってみんないい」という表現があります。一人一人が別々で個性があり、それに優劣はないこと、それぞれがすばらしいということが的確に表現されています。

子供たちには、心豊かに成長し、いろいろな「違い」を尊重できる人になってほしいと思います。

自分の身は自分で守る

避難訓練担当

㊟ さない ㊦ けない ㊧ やべらない ㊨ どらない

四谷小学校では、毎月1回避難訓練を行っています。「お・か・し・も」は避難訓練の時の合言葉です。授業中や休み時間に、火災、地震、不審者侵入など様々な状況を想定し、有事の際には適切な行動がとれるように計画を立てて実践しています。繰り返し行うことで、避難の仕方が身に付くよう指導しています。また、学年ごとに、消防署の方からお話を伺ったり、起震車体験、煙体験、消火訓練などを行ったりする活動もあります。地震や火災の様子を聞き、その状況を体験することで、自分が取るべき行動を学びます。

この訓練を学校生活ではもちろんのこと、学校外でも生かしていく必要があります。大人が子供の身の安全を守るのは当然のことですが、常に大人がそばにいないとは限りません。登下校の最中や習い事などの行き帰り、公園で遊んでいる時などの行動の仕方も考えなくてはなりません。学校での取り組みと共に、各ご家庭でもしっかりと話し合っていたきたいと思います。

「今やろう。災害から身を守る全てを。」
昨年、東京都から出された本、『東京防災』に書かれている言葉です。この『東京防災』には災害への備え、災害が起きた時の行動の仕方、災害後の避難や連携など、いざという時に役立つ内容が多く書かれています。すぐに取り出せるところに置いて、学校の避難訓練の日に合わせて内容をチェックするなどぜひ活用してください。

2年生へ向けて

1年2組担任

「1年2組をどんなクラスにしたいですか？」の問いに「たのしいクラスにしたい」と目をキラキラさせて答えた子供たち。よりよいクラスにするために、①よいしせいではなしをきく②なかよく③げんきに、という目標を3つたてました。

帰りの会では、1日を振り返って友達の良い言動を発表して認め合ったり、学級目標に照らして考えたりして成長につなげています。

役割を決める際には、じゃんけんではなく譲り合って決めることができるなど、自分のことだけでなくクラス全体のことを考えた行動ができるようになってきたところに成長を感じます。

1年生も残り2カ月。春には全員が立派な2年生へのスタートを切ることができるように、基本に立ち返って指導していきます。

ノートと話す

5年2組担任

「これはよく考えたな。これ発表すればよかったのに。」「なかなか面白い考えだな。」「工夫してまとめてえらい。」「もうちょっと丁寧に書かなきゃ。」「ここ、字を間違ってるぞ。」

子供たちが下校した後、ノートを見るのが毎日の楽しみです。一人一人のノートを見ながらブツブツ話しかけています。周りから見たらちょっと変に思われるかもしれませんが、でも、言葉はどんどん出てきます。そのうちにノートから「次は発表してみようかな。」とか「たくさん考えたでしょう。」「この次はがんばります。」などといった声が聞こえてきます。

キラキラした目と元気な声に直に接する時間は私にとってかけがえのないものです。それと同じくらい、ノートと子供たちの机を見ながら過ごす放課後も、楽しく貴重な時間です。ノートに成長の様子や努力の跡が見られたときのうれしさは格別です。

ありがとう、6年生

代表委員会担当

2月26日の3時間目に6年生を送る会を行います。全校児童が体育館に集まり、今までお世話になった6年生の卒業を祝い、1～5年生が感謝の気持ちを伝える会です。

今年も、6年生へ各学年からの出し物を予定しています。6年生への感謝と激励の気持ちを込めて、1～5年生は一生懸命に用意していきます。6年生もお礼の出し物で、最高学年の思いを伝えます。会の最後には、6年生から5年生への校旗の引き継ぎがあります。全校が見守る中で、最高学年として下学年のお手本になるという自覚、責任、そして四谷小学校の伝統が、校旗とともに5年生に引き継がれます。

どの子も6年生との思い出を振り返り、温かな笑顔でいっぱいになるように準備を進めていきます。

